

## 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

- 発生動向の概況 《2005年20週》
- 定点医療機関からのコメント
- 全数把握対象疾患 患者報告数
- 五類定点把握対象疾患 患者報告数

男女別

推移グラフ

保健所別

保健所別(定点当たり)

年齢階級別

- 病原体・抗体検査情報

週別検出状況

臨床診断名別検出結果

クローズアップ「A群溶血性レンサ球菌感染症」

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: idsc.tokyo-eiken.go.jp/



# 全数及び定点(週単位報告)把握対象疾患

## 発生動向の概況 《2005年20週》

### (全数把握対象疾患)

・腸管出血性大腸菌感染症の遅れ報告(14週分)が1件あった。O157(VT2)が検出され、国内での感染が推定されている。

区分	疾患	報告 件数	情 報 (検出病原体・血清型・推定感染経路等)	推定感染地
二類	細菌性赤痢	1	ソネ菌	国内
	腸チフス	1	血液から菌検出	国内
三類	腸管出血性 大腸菌感染症	1	O157(VT1・VT2)	国内
四類	A型肝炎	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	不明
	マラリア	1	卵形マラリア	チャド
五類	アメーバ赤痢	7	推定感染経路: 飲食等による経口感染1件、 異性間性的接触2件、同性間性的接触1件、不明3件	国内
	ウイルス性肝炎	1	B型 推定感染経路: 異性間性的接触	国内
	急性脳炎	1	病原体: 不明	国内
	クロイツフェルト・ ヤコブ病	1	孤発性 臨床決定 ほぼ確実 推定感染経路: 不明	不明
	HIV感染症	9	無症候性キャリア6件、AIDS2件、その他1件 推定感染経路: 異性間性的接触4件、 同性間性的接触5件	国内6件、 アメリカ1件、 不明2件
	ジアルジア症	1	推定感染経路: 飲食等による経口感染	インド
	梅毒	3	早期顕症梅毒 I 期1件、早期顕症梅毒 II 期1件、 無症候梅毒1件 推定感染経路: 異性間性的接触2件、不明1件	国内

(推定される感染地は医師の届出によるものである。)

### (定点把握対象疾患 ー小児科・インフルエンザ・眼科・基幹定点ー)

・流行性耳下腺炎の報告が依然として多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の報告が増加した。

### (検査情報)

・インフルエンザウイルスの検出がまだ続いている。

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
ヘルパンギーナ	10M	咽頭拭い液	エンテロウイルス	遺伝子
突発性発しん症、 けいれん重積	8M	咽頭拭い液	アデノウイルス	

臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
不明発しん、発熱	11M	咽頭拭い液	アデノウイルス	遺伝子
乳児けいれん	7M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
結膜炎、下痢	1	直腸拭い液	アデノウイルス	
肺炎	1	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	
川崎病	1	咽頭拭い液	サイトメガロウイルス	
記載なし	4M	髄液	アデノウイルス	
腸チフス	31	菌株	チフス菌	生化学的性状 & 血清型別試験

施設内感染疑いまたは食中毒疑い等で搬入された検体

臨床診断名	検査試料数	陽性数	検出病原体
感染性胃腸炎または食中毒疑い	242	65	ノロウイルス G I
		8	ノロウイルス G II

## 定点医療機関からのコメント

大田区保健所  
・インフルエンザ:A型3名。

中野区保健所  
・今回、診断された伝染性紅斑の子が通う保育園で、他にも伝染性紅斑と診断された子が数人いるそうです。

## 全数把握対象疾患 患者報告数 2005年20週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		17週	18週	19週	20週	年累計	20週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	重症急性呼吸器症候群							
	痘そう							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	コレラ			1		3	1	21
	細菌性赤痢	2		3	1	35	3	217
	ジフテリア							
	腸チフス				1	4	1	21
	パラチフス					2		5
三類	腸管出血性大腸菌感染症	1			1	13	47	332
四類	E型肝炎					4	( )	( 22)
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		1	1	10	( 1)	( 83)
	エキノコックス症						1	8
	黄熱							
	オウム病					2		23
	回帰熱							
	Q熱							2
	狂犬病							
	高病原性鳥インフルエンザ							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	炭疽							
	つつが虫病					3	5	42
	デング熱	1				4		12
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							2
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	ブルセラ症							
	発しんチフス							
ボツリヌス症					1			
マラリア		1		1	6	1	23	
野兔症								
ライム病								
リッサウイルス感染症								
レジオネラ症					4	3	45	
レプトスピラ症					1	( )	( 2)	
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	3	2	5	7	67	7	249
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2		1	1	19	3	112
	急性脳炎				1	10	( )	( 94)
	クリプトスポリジウム症					1		5
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	8	2	50
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					2	1	25
	後天性免疫不全症候群	3	2	6	9	130	14	378
	ジアルジア症			1	1	4	1	19
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	1	1	3	33	6	179
	破傷風		1			1	1	29
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					5		30

2005/05/30集計

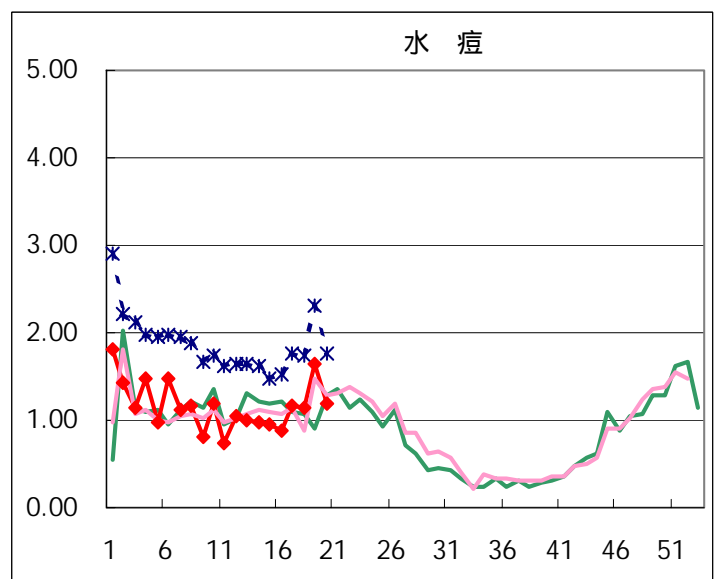
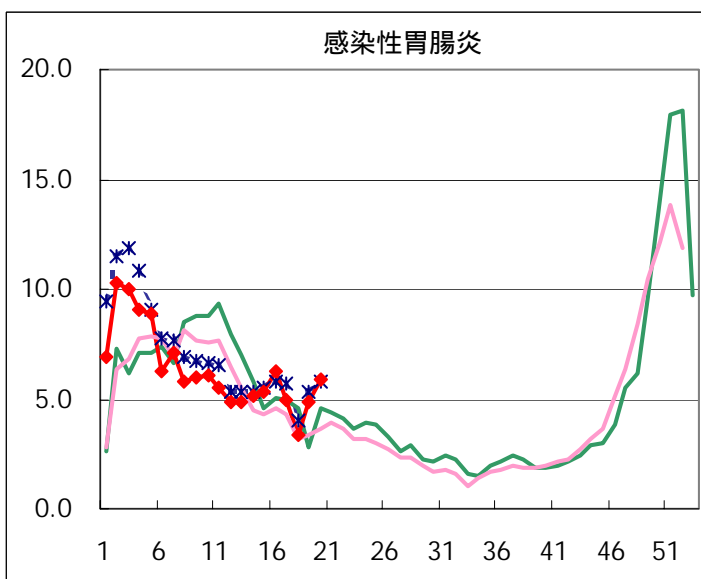
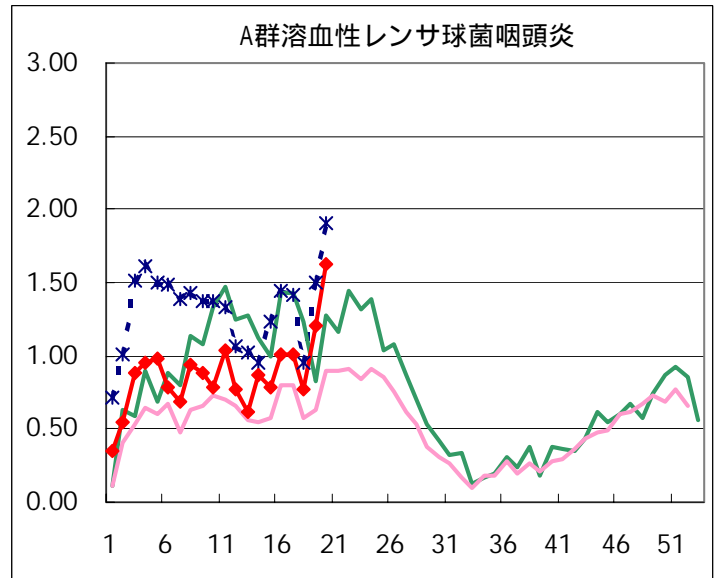
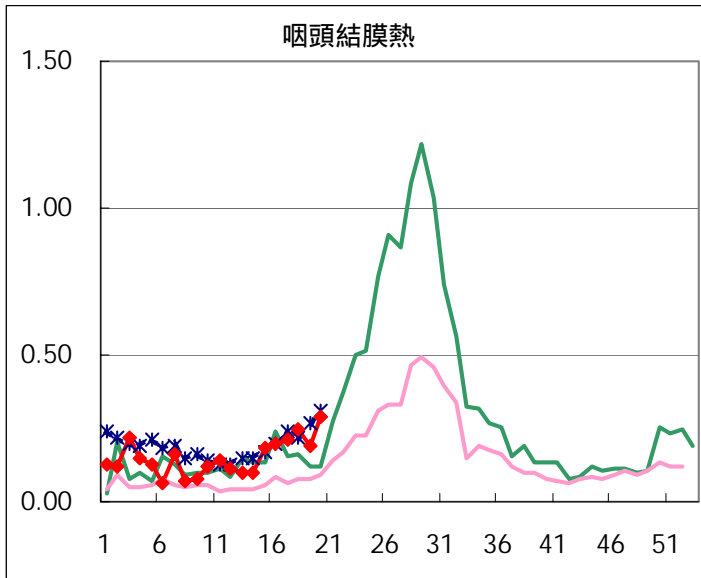
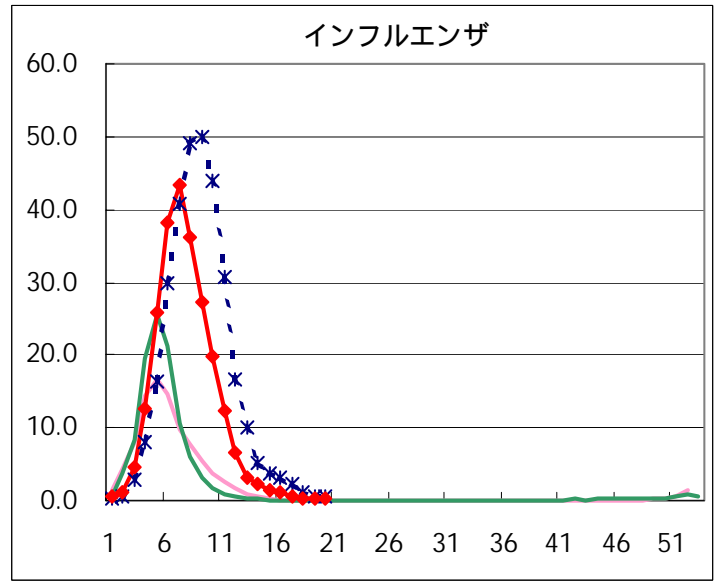
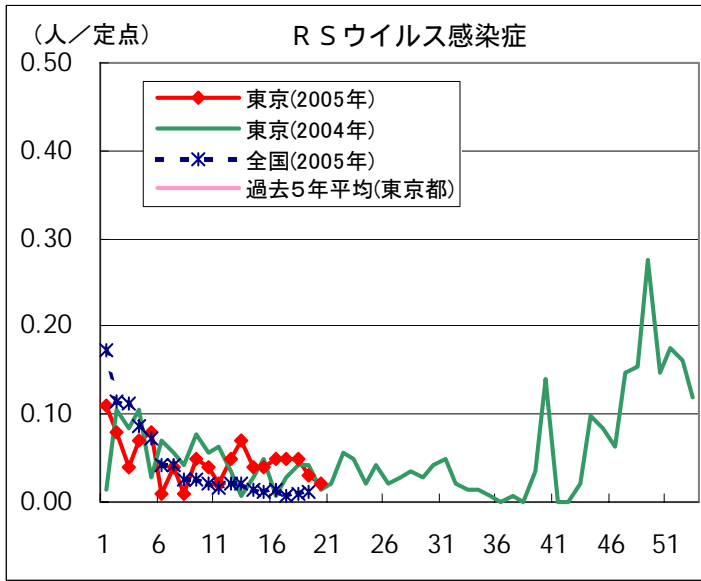
(カッコ内の数値は19週分)

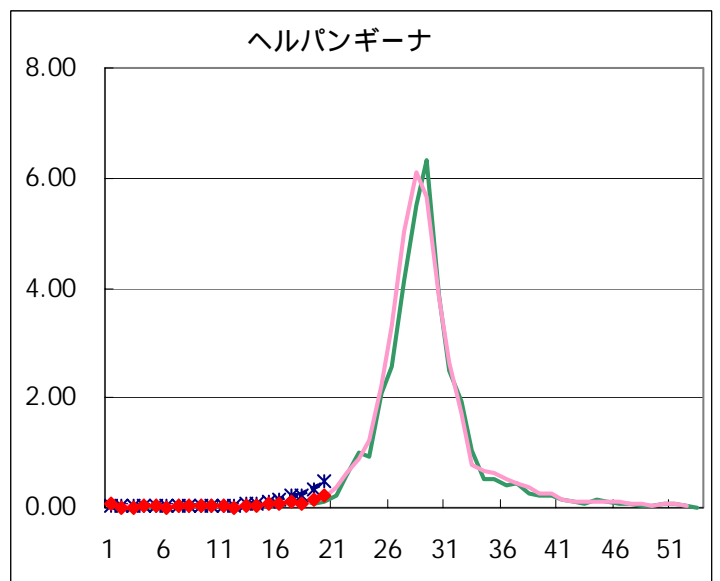
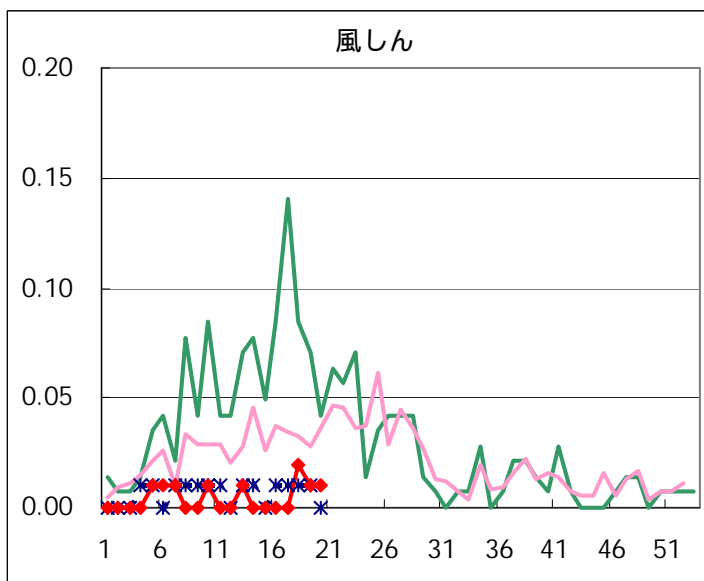
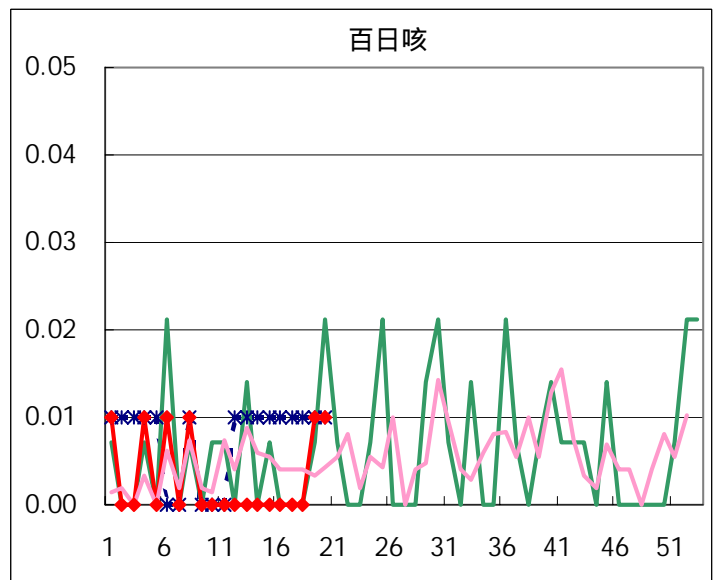
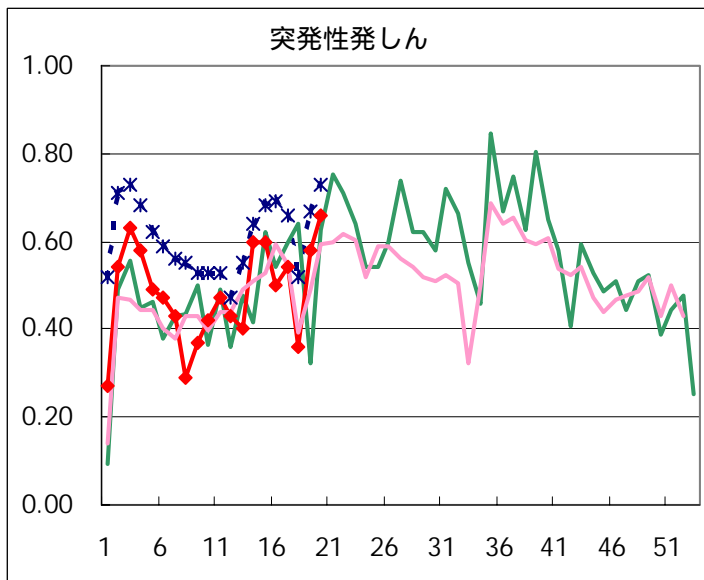
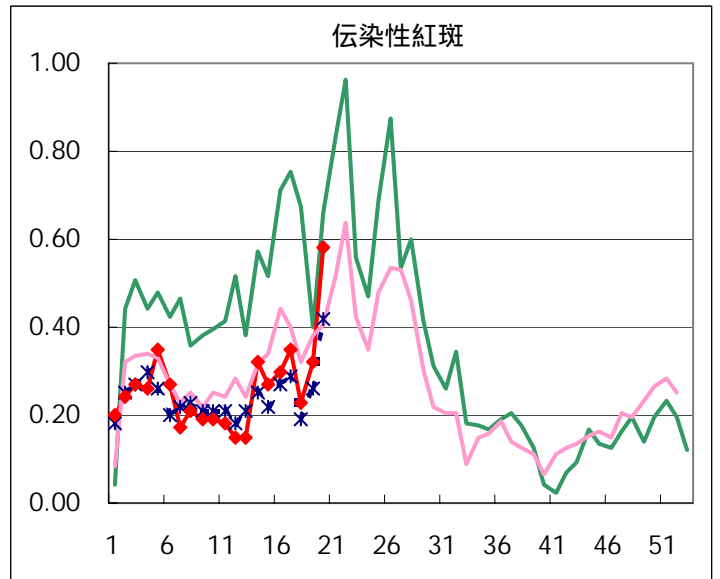
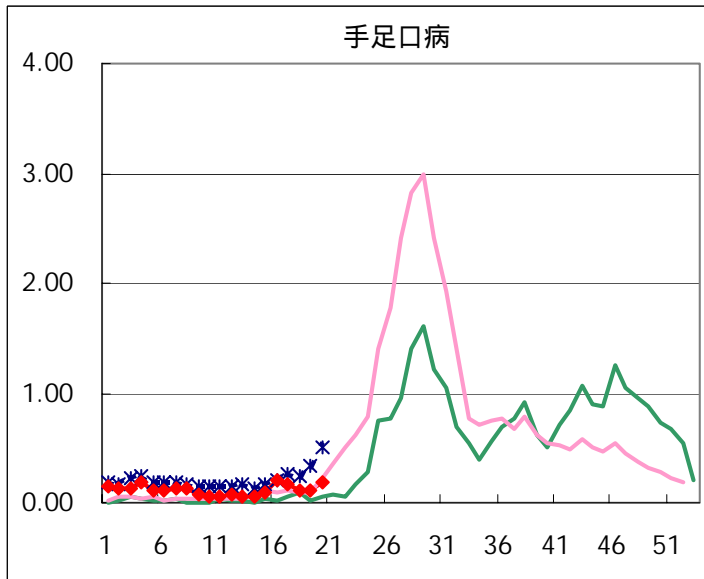
## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【男女別】 2005年20週

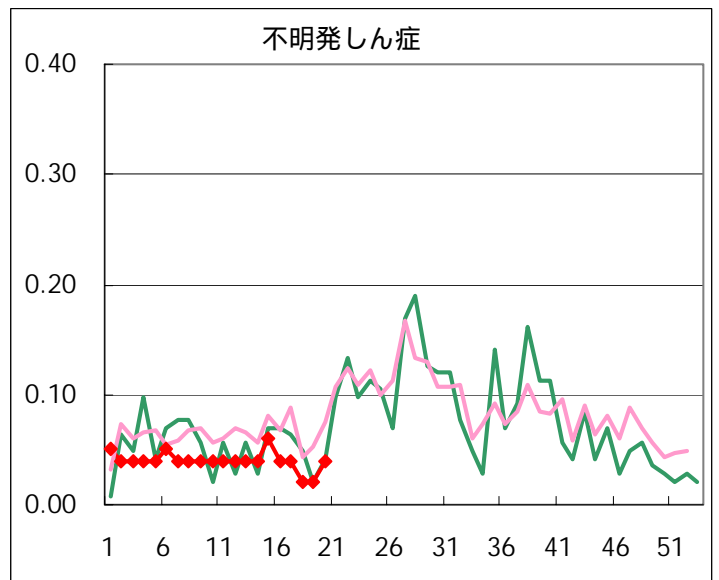
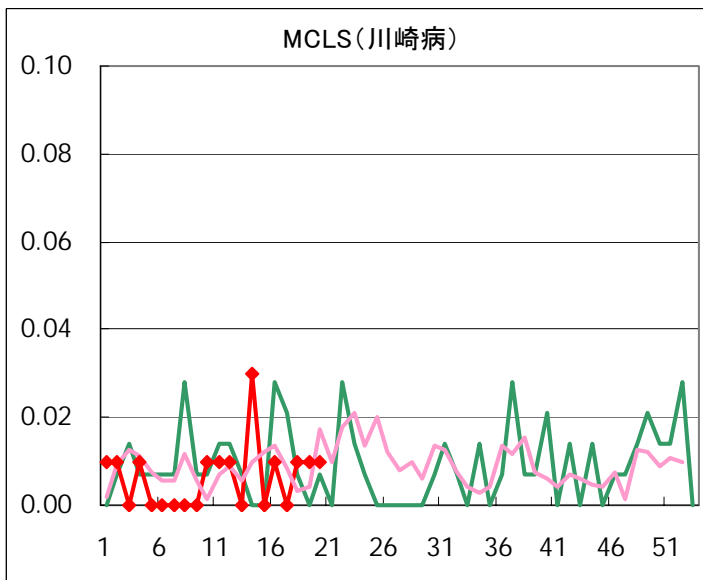
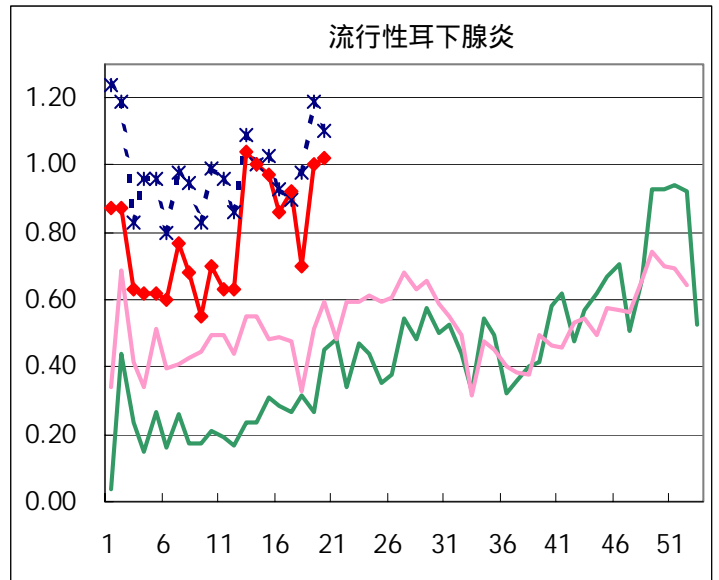
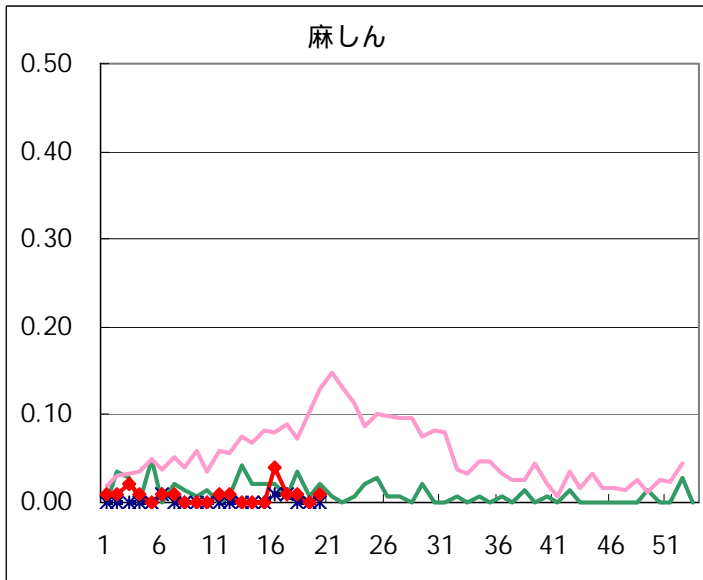
疾病名	性	2005年				4週合計	年累計
		17	18	19	20		
RSウイルス感染症	男	5	3	2	2	12	78
	女	2	4	2	1	9	56
インフルエンザ	男	57	24	15	30	126	20,972
	女	60	17	17	26	120	21,347
咽頭結膜熱	男	15	22	17	21	75	235
	女	15	13	10	20	58	190
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	77	60	88	128	353	1,329
	女	66	49	82	104	301	1,155
感染性胃腸炎	男	359	256	363	430	1,408	9,219
	女	341	215	321	400	1,277	8,877
水痘	男	89	95	133	83	400	1,758
	女	77	69	102	88	336	1,564
手足口病	男	10	14	8	14	46	180
	女	13	3	9	12	37	156
伝染性紅斑	男	27	20	18	39	104	359
	女	22	13	28	43	106	380
突発性発しん	男	39	34	48	42	163	705
	女	38	17	34	52	141	663
百日咳	男			1	1	2	4
	女				1	1	4
風しん	男		1			1	4
	女		2	2	1	5	8
ヘルパンギーナ	男	6	8	10	13	37	75
	女	10	3	11	19	43	77
麻しん(成人麻しんを除く)	男						9
	女	1	1		2	4	11
流行性耳下腺炎	男	71	53	71	84	279	1,213
	女	60	47	71	61	239	1,016
不明発しん症	男	4	2	1	4	11	64
	女	1	1	2	2	6	48
MCLS	男		1	1	2	4	10
	女						6
急性出血性結膜炎	男			1	1	2	2
	女						1
流行性角結膜炎	男	4	6	9	4	23	106
	女	7	5	5	4	21	86
細菌性髄膜炎	男				1	1	3
	女						3
無菌性髄膜炎	男	1		3		4	6
	女						2
マイコプラズマ肺炎	男	3	4	1	5	13	27
	女	5	3	1	1	10	29
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	男						
	女			2		2	2
成人麻しん	男						
	女						

# 五類定点把握対象疾患 患者報告数【推移グラフ】 2005年20週現在

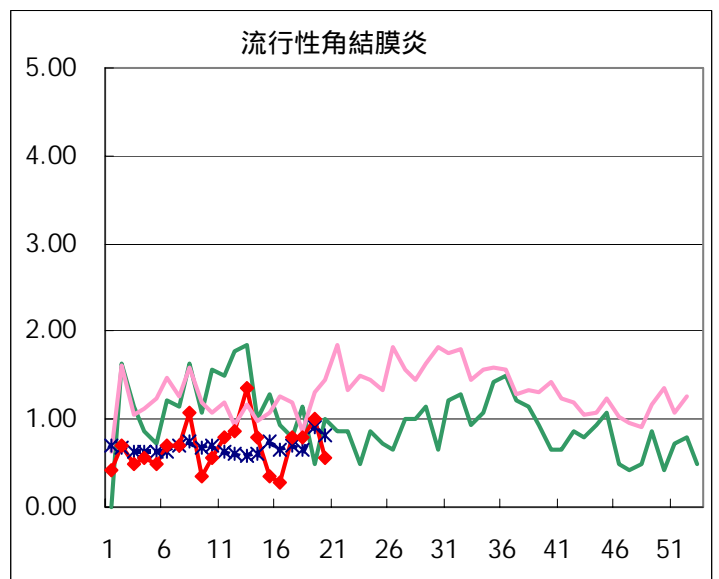
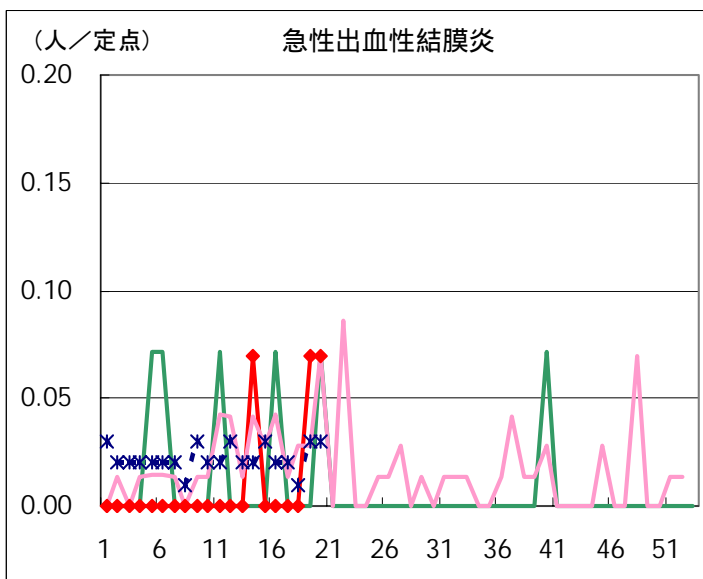
## ◆ 小児科・インフルエンザ定点





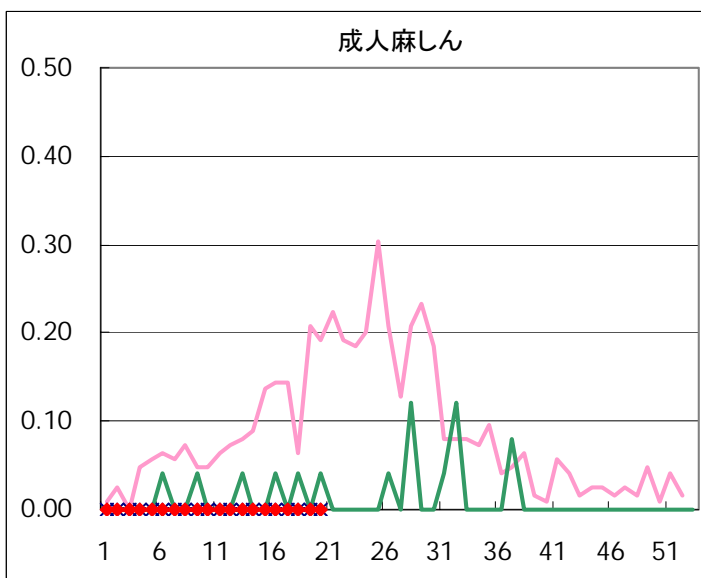
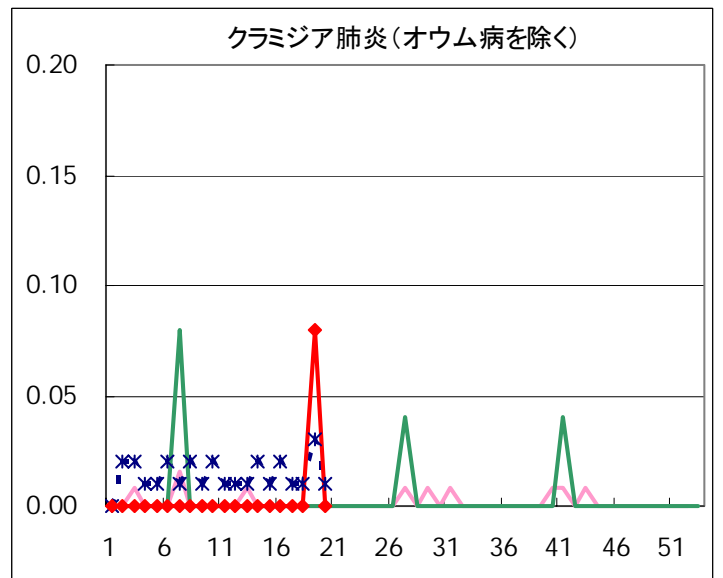
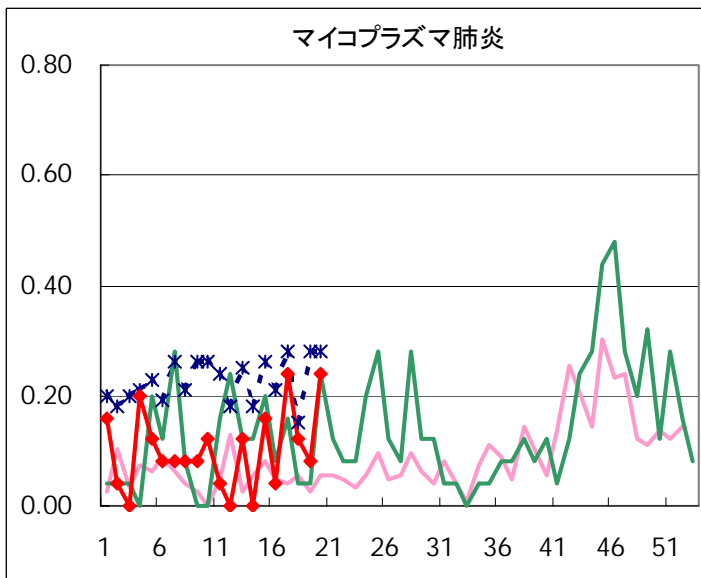
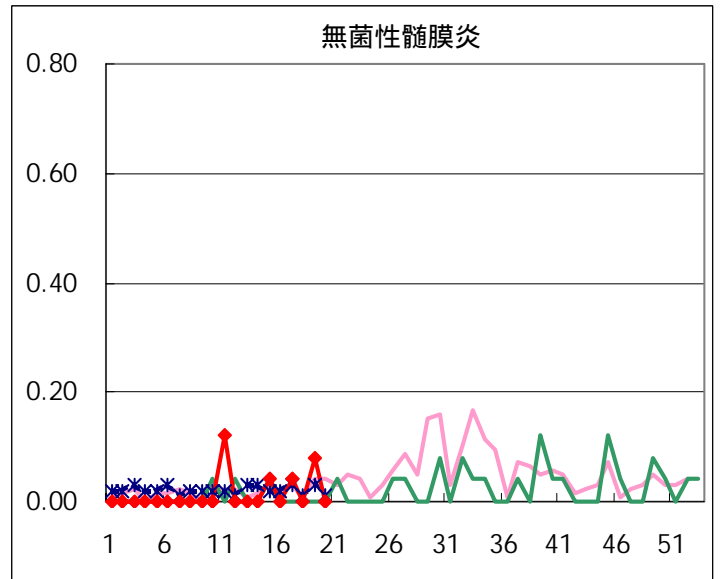
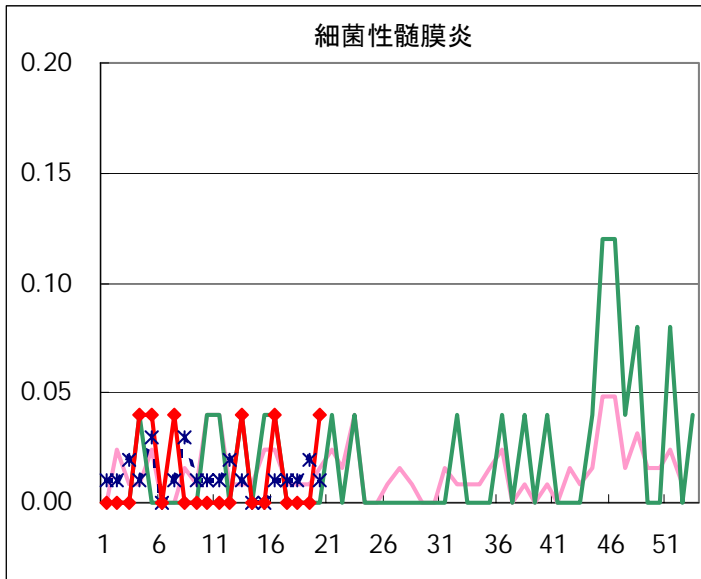


◆ 眼科定点





◆ 基幹定点



疾患別の定点医療機関数(週単位報告分)		
定点種別	疾患	医療機関数
インフルエンザ	インフルエンザ	178
眼科	急性出血性結膜炎	14
	流行性角結膜炎	
基幹	急性脳炎	25
	細菌性髄膜炎	
	無菌性髄膜炎	
	マイコプラズマ肺炎	
	クラミジア肺炎	
	成人麻しん	
小児科	上記を除く疾病	142

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				4						
中央区		27			5	1		3	2	
みなと	2		7	11	12	1	1	1	1	
新宿区				2	33	4			4	
文京					13		1			
台東				6	29	5			3	
墨田区			1	9	15	4			1	2
江東区				7	39	4			1	
品川区				4	54	9		1	1	
目黒区				12	7	3			3	
大田区		3	4	27	74	13	5	1	6	
世田谷			1	6	43	14	2	7	6	
渋谷区			3	3	21	4			4	
中野区				14	32	5	2	5	1	
杉並		1	4	20	60	14		1	5	
池袋					5	2		4	2	
北区		2	2	2	16	5	1	15	6	
荒川区			4	5	19	2	1	10	1	
板橋区			2	1	36	1		4	2	
練馬区				7	50	6	4	1	4	
足立				1	21	5		3	2	
葛飾区				5	17	13	4	5	9	
江戸川		13	4	33	33	5			5	
西多摩			4	4	29	7	2	1	1	
八王子					14			1		
南多摩		2		1	16	6		3	3	
町田				25	33	10	1	2		
多摩立川	1	3	3	1	7	2		1		
多摩府中				9	54	14		6	14	
多摩小平		5	2	13	43	12	2	7	7	
島しょ										

東京都合計	3	56	41	232	830	171	26	82	94	2
定点当り報告数	0.02	0.31	0.29	1.63	5.85	1.20	0.18	0.58	0.66	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別】2005年20週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田			1	3				1	9
中央区		1							39
みなと				3					39
新宿区				1			1		45
文京				3		1			18
台東		7		2					52
墨田区		2							34
江東区	1	1	1	2		1			57
品川区		1		3					73
目黒区				2					27
大田区		1		17			1		152
世田谷				6				1	86
渋谷区				4					39
中野区				1					60
杉並		1		5					111
池袋					1				14
北区		2		8			1		60
荒川区				1		2			45
板橋区		2		5					53
練馬区				3					75
足立				8					40
葛飾区		3		9			1		66
江戸川				4					97
西多摩		2		17					67
八王子				11		1			27
南多摩				4					35
町田		3		4		2	1		81
多摩立川				4		1			23
多摩府中		3		7					107
多摩小平		3		8			1		103
島しょ									

東京都合計	1	32	2	145	1	8	6	2	1,734
定点当り報告数	0.01	0.23	0.01	1.02	0.07	0.57	0.04	0.01	

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳
千代田				1.00						
中央区		6.75			1.67	0.33		1.00	0.67	
みなと	0.33		1.17	1.83	2.00	0.17	0.17	0.17	0.17	
新宿区				0.33	5.50	0.67			0.67	
文京					4.33		0.33			
台東				2.00	9.67	1.67			1.00	
墨田区			0.33	3.00	5.00	1.33			0.33	0.67
江東区				2.33	13.00	1.33			0.33	
品川区				0.67	9.00	1.50		0.17	0.17	
目黒区				4.00	2.33	1.00			1.00	
大田区		0.30	0.44	3.00	8.22	1.44	0.56	0.11	0.67	
世田谷			0.13	0.75	5.38	1.75	0.25	0.88	0.75	
渋谷区			0.75	0.75	5.25	1.00			1.00	
中野区				2.33	5.33	0.83	0.33	0.83	0.17	
杉並		0.14	0.67	3.33	10.00	2.33		0.17	0.83	
池袋					1.00	0.40		0.80	0.40	
北区		0.40	0.50	0.50	4.00	1.25	0.25	3.75	1.50	
荒川区			2.00	2.50	9.50	1.00	0.50	5.00	0.50	
板橋区			0.33	0.17	6.00	0.17		0.67	0.33	
練馬区				1.40	10.00	1.20	0.80	0.20	0.80	
足立				0.25	5.25	1.25		0.75	0.50	
葛飾区				1.25	4.25	3.25	1.00	1.25	2.25	
江戸川		2.60	1.00	8.25	8.25	1.25			1.25	
西多摩			0.80	0.80	5.80	1.40	0.40	0.20	0.20	
八王子					7.00			0.50		
南多摩		0.50		0.33	5.33	2.00		1.00	1.00	
町田				12.50	16.50	5.00	0.50	1.00		
多摩立川	0.17	0.38	0.50	0.17	1.17	0.33		0.17		
多摩府中				0.90	5.40	1.40		0.60	1.40	
多摩小平		0.63	0.33	2.17	7.17	2.00	0.33	1.17	1.17	
島しょ										

東京都合計	3	56	41	232	830	171	26	82	94	2
定点当り報告数	0.02	0.31	0.29	1.63	5.85	1.20	0.18	0.58	0.66	0.01

五類定点把握対象疾患 患者報告数【保健所別・定点当たり】 2005年20週

	風しん	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人麻疹 を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
千代田			0.25	0.75				0.25
中央区		0.33						
みなと				0.50				
新宿区				0.17			0.17	
文京				1.00		1.00		
台東		2.33		0.67				
墨田区		0.67						
江東区	0.33	0.33	0.33	0.67		1.00		
品川区		0.17		0.50				
目黒区				0.67				
大田区		0.11		1.89			0.11	
世田谷				0.75				0.13
渋谷区				1.00				
中野区				0.17				
杉並		0.17		0.83				
池袋					1.00			
北区		0.50		2.00			0.25	
荒川区				0.50		2.00		
板橋区		0.33		0.83				
練馬区				0.60				
足立				2.00				
葛飾区		0.75		2.25			0.25	
江戸川				1.00				
西多摩		0.40		3.40				
八王子				5.50		1.00		
南多摩				1.33				
町田		1.50		2.00		2.00	0.50	
多摩立川				0.67		1.00		
多摩府中		0.30		0.70				
多摩小平		0.50		1.33			0.17	
島しょ								

東京都合計	1	32	2	145	1	8	6	2
定点当り報告数	0.01	0.23	0.01	1.02	0.07	0.57	0.04	0.01

## 五類定点把握対象疾患 患者報告数【年齢階級別】 2005年20週

	RS ウイルス 感染症	インフルエ ンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん
～6ヶ月					11	4			3
～1歳		1	3		44	13		1	50
1歳		3	7	3	92	32	6	3	38
2歳		3	6	9	79	31	11	8	2
3歳		5	8	25	83	29	3	11	1
4歳		3	5	25	101	24	2	7	
5歳		13	5	31	87	13		11	
6歳		5	3	36	49	9	2	12	
7歳		1	2	30	42	5	1	10	
8歳		2	1	21	32	5		4	
9歳	1	3		13	37	1		6	
10～14歳		3	1	24	63	2	1	7	
15～19歳		1			11	1			
20～29歳	2	2		15	99	2		2	
30～39歳		6							
40～49歳		2							
50～59歳		1							
60～69歳		1							
70～79歳		1							
80歳以上									
合計	3	56	41	232	830	171	26	82	94
先週比	-1	24	14	62	146	-64	9	36	12

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	百日咳	風しん	ヘルパン ギーナ	麻しん (成人麻しん を除く)	流行性 耳下腺炎	急性出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発しん症	MCLS
～6ヶ月	1								
～1歳	1		1					2	
1歳			6	1	3			1	
2歳			12		14			1	2
3歳			6		19				
4歳		1	4		23			1	
5歳					18				
6歳				1	19				
7歳			1		10				
8歳			1		11				
9歳					7				
10～14歳					12		1		
15～19歳					2		1		
20～29歳			1		7	1	2	1	
30～39歳									
40～49歳							2		
50～59歳							2		
60～69歳									
70～79歳									
80歳以上									
合計	2	1	32	2	145	1	8	6	2
先週比	1	-1	11	2	3	0	-6	3	1

注:小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

# 病原体・抗体検査情報

週別検出状況 2005年13週～20週

検出病原体・抗体		検体採取週								合計
		2005年								
		13	14	15	16	17	18	19	20	
ウイルス	アデノ	5	6	3	8	1	2	14	4	43
	ライノ		1					2		3
	ポリオ									
	コクサッキーA群									
	コクサッキーB群									
	エコー									
	エンテロ71							2		2
	その他のエンテロ		1		4	1		2	1	9
	単純ヘルペス	2			1		2	2		7
	水痘・帯状疱疹									
	ヘルペス6/7		2	3	2		6	4	1	18
	EB	2	1		1		1	2		7
	サイトメガロ						1	2	1	4
	ムンプス		1				3	1		5
	麻疹	2	1							3
	風しん									
	パルボB19	1	2		2					5
	RS			2		1				3
	ノロ	36	31	44	18	141	25	4	72	371
	ロタ	10	1		3	3	1	4		22
インフルエンザAソ連型										
インフルエンザA香港型	22	2	1	1		1		1	28	
インフルエンザB型	1								1	
デング						1			1	
その他のウイルス						1			1	
細菌	カンピロバクター			1						1
	サルモネラ									
	腸管出血性大腸菌									
	その他の腸管系病原菌							1		1
	溶血性レンサ球菌	1		4			1	2	4	12
	MRSA							3	1	4
	MSSA			1						1
	その他の細菌			4	1					5

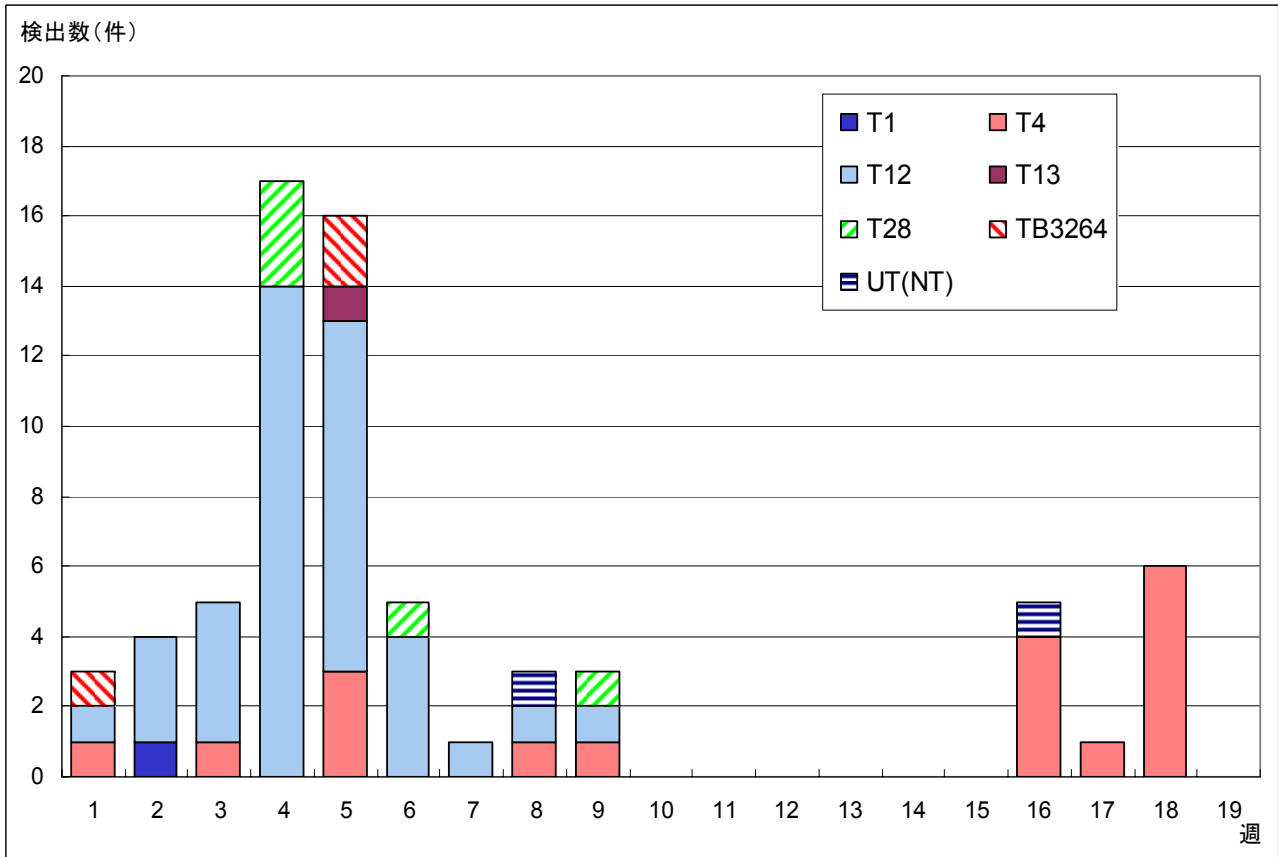
臨床診断名別検出結果 2005年13週～20週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他の	合計
搬入検体数	63	23	37	1145	36			2	1		3	25	7				116	
アデノ	3	2	11	6	2			1			1	5					12	43
ライノ					1							1					1	3
ポリオ																		
コクサッキーA群																		
コクサッキーB群																		
エコー																		
エンテロ71					2													2
その他のエンテロ		1	2					1			1	1					3	9
単純ヘルペス		1										2					4	7
水痘・帯状疱疹																		
ヘルペス6/7		1			1							8					8	18
EB											2	2					3	7
サイトメガロ		1															3	4
ムンプス					3								2					5
麻疹												3						3
風しん																		
パルボB19											3	2						5
RS		1	2															3
ノロ				367	4													371
ロタ				18	4													22
インフルエンザAソ連型																		
インフルエンザA香港型	27	1																28
インフルエンザB型	1																	1
カンピロバクター				1														1
サルモネラ																		
腸管出血性大腸菌																		
その他の腸管系病原菌																	1	1
溶血性レンサ球菌																	12	12
その他の病原体		1	4														9	14
備考	「その他の病原体」は「週別検出状況」の表にある「デング」「その他のウイルス」「MRSA」「MSSA」「その他の細菌」と「週別検出状況」には無いマイコプラズマなどの合計である。																	



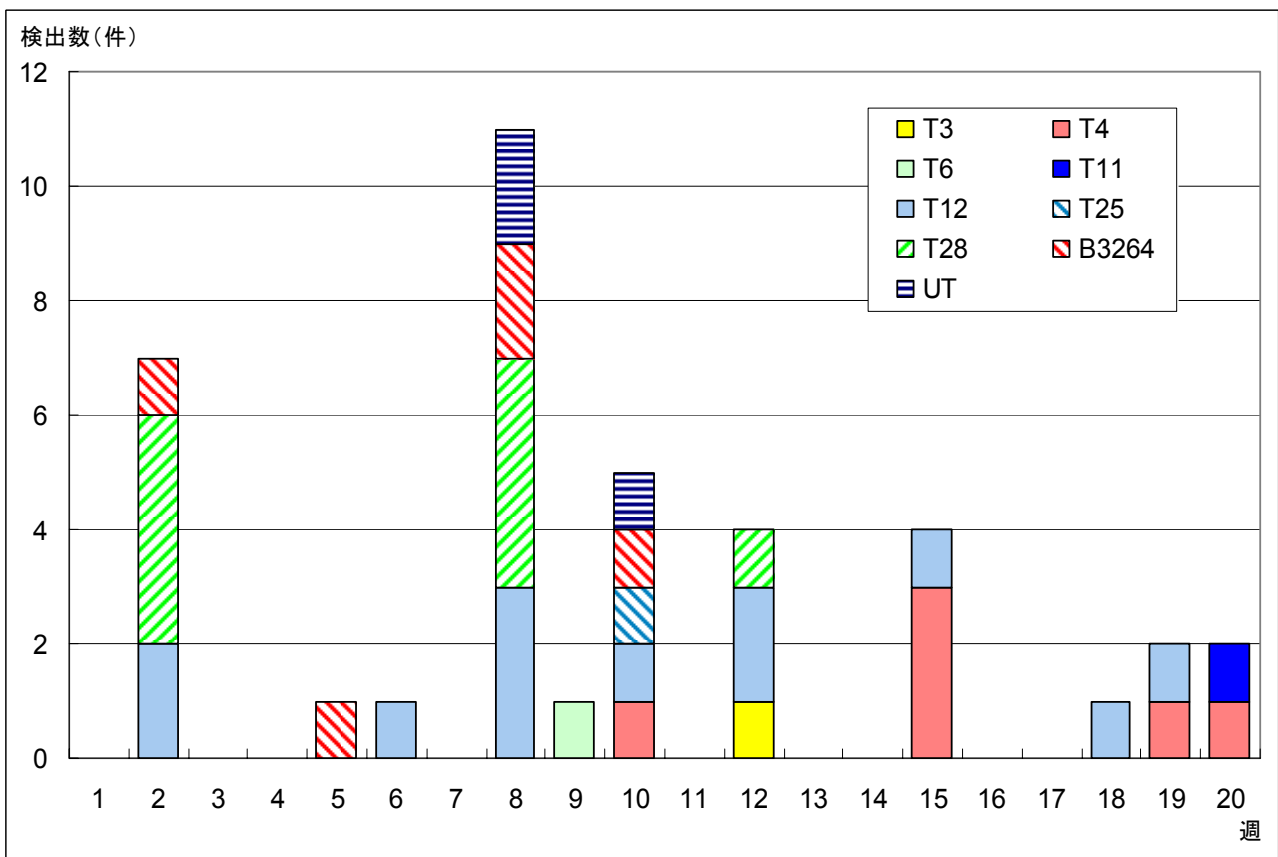
# クローズアップ(A群溶血性レンサ球菌感染症)

患者から検出されたA群溶血性レンサ球菌の菌型(全国)



IASR 病原微生物検出情報(2005年5月30日現在報告数)

患者から検出されたA群溶血性レンサ球菌の菌型(東京都)



微生物部病原細菌研究科

## <感染症豆知識>

### 回帰熱

回帰熱は細菌（スピロヘータ）の感染によって起こり、保菌動物である嚙歯類や鳥類からダニやシラミによって媒介される。アメリカ大陸、アフリカ、中東、ヨーロッパで患者が報告されている。米国のグランドキャニオンを含むロッキー山脈は流行地として有名である。

日本国内では数十年間患者報告はない。菌血症による発熱期と菌血症をおこしていない無熱期を数回繰り返すのが臨床上的特徴である。治療しない場合の致死率は数%～30%といわれている。

感染後5～10日後、菌血症により発熱、悪寒がおき、頭痛・筋肉痛・関節痛・羞明・咳などを伴い3～7日続く。点状出血、肝脾腫、黄疸、肺炎、心筋炎、髄膜炎、脳出血を伴うことがある。発熱期の後、無熱期が5～7日続く。無熱期に発汗、倦怠感、低血圧症、斑点状丘疹をみることがある。無熱期の後、再び発熱期に移る。

回帰熱の病原体であるボレリアには十数種類があり培養、暗視野顕微鏡、アクリジン染色、ギムザ染色などで確認される。発熱期には検出されるが無熱期には検出されない。治療にはテトラサイクリンとエリスロマイシンが有効である。治療に伴いJarisch-Herxheimer反応が見られることがある。予防は媒介動物のダニやシラミとの接触を避けることである。予防のためのワクチンはない。回帰熱は4類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に保健所に届け出る。報告のための基準は症状や所見から当疾患が疑われ、患者から病原体若しくは病原体の抗体が検出された場合となっている。

（文責 関根大正）